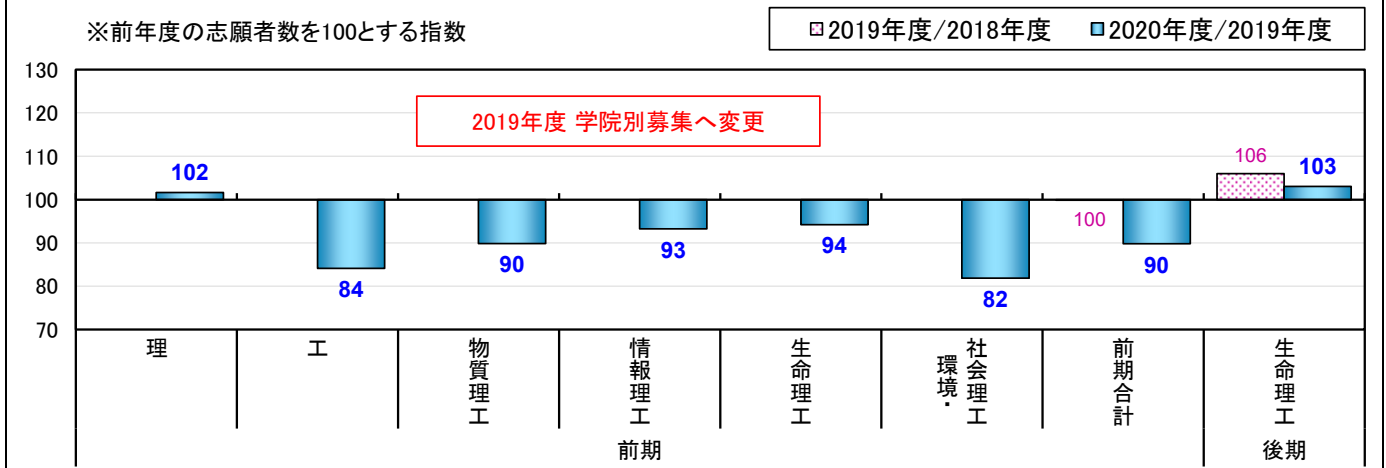


2020 年度入試状況分析【国公立大】

東京工業大：前期合計は 2 年連続減少、志願者数 3,700 人台へ 前期：-432 人 後期：+15 人



COMMENT ※ () 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は 432 人(90)の減少で 2 年連続減少。志願者数も 3,700 人台になった。後期は、生命理工のみの募集だが、15 人(103)のやや増加ながら 2 年連続増加した。

<前期日程>

- 理(102)は、6つの学院の中で唯一の増加だが、微増にとどまった。
- 情報理工(93)は、前年度高倍率の反動でやや減少したが、それでも志願倍率は6つの学院で最も高倍率の9.1倍だった。
- 生命理工(94)は、前年度低倍率の反動はなく、さらに減少して志願倍率は6つの学院で最も低い2.3倍だった。
- 工(84)は、大幅減少で、減少数は6つの学院で最も大きくなった。
- 物質理工(90)は、志願倍率は前年度3.0倍と6つの学院で低いほうから2番目だったが、さらに減少して2.7倍までダウンした。
- 環境・社会理工(82)は、大幅減少で、減少率は6つの学院で最も大きくなった。志願倍率は、前年度は6つの学院で2番目に高倍率の4.8倍だった反動もあり、3.9倍までダウンした。